

### 3 特別会計

## (1) 国民健康保険特別会計

<p>【事業番号】 75</p>	<p>【事業名称】 データヘルス事業</p>
<p>【施策体系】 &lt;2&gt;</p>	<p>【事業概要】</p>
<p>事業費： 25,944 千円</p> <p>財源内訳： 都支出金 25,994 千円</p>	<p>「第2期日野市国民健康保険データヘルス計画」に基づき、日野市国民健康保健被保険者の医療費レセプト等のデータを活用し、効果的かつ効率的な保健事業を進めることで健康増進と医療費適正化を図った。</p> <p>その事業として、ジェネリック医薬品差額通知事業、特定健診受診勧奨事業などを実施し、特定健診受診勧奨事業では、9月末の未受診者6,232人にはハガキにより、3,759人には自動音声電話での受診勧奨を実施し、両方併せて9,991人に受診勧奨を行った。</p> <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品差額通知事業は、10月時点で数量普及率82.3%であり、国の掲げた数量普及率80%以上とする目標を達成できた。また、切替により、6,944万円の医療費削減を行うことができた。</li> <li>・特定健診受診勧奨事業は、未受診者1,515人を健診受診に導き、被保険者の健康の保持増進に繋げることができた。</li> </ul>

日野都市計画事業 西平山土地区画整理事業  
令和4年度施行箇所図



## (2) 土地区画整理事業特別会計

<p>【事業番号】 76</p>	<p>【事業名称】 西平山土地区画整理事業</p>
<p>【施策体系】 &lt;8&gt;</p>	<p>【事業概要】</p>
<p>事業費： 864,232 千円</p> <p>財源内訳： 国庫支出金 477,907 千円 都支出金 82,302 千円 前年度繰越金 103,067 千円 基金利子 81 千円 市債 134,000 千円 一般財源 66,875 千円</p>	<p>整備予定の都市計画道路 3・3・2 号線の用地確保の推進及び、西平山地区内の交通安全確保と沿道の利用促進のため、3・3・2 号線直上の換地先及び関連する周辺街区や区画道路の整備を行った。また、3・3・2 号線用地内の仮設道路改良工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3・3・2 号線仮設道路改良工事 1 件 L=148.1m (幅員 2~5m)</li> <li>・ 区画道路築造工事 1 件 L=66.9m (幅員 6m)</li> <li>・ 整地工事 1 件 1,932 m<sup>2</sup></li> <li>・ 建物移転 15 棟</li> </ul> <p>【事業成果】</p> <p>3・3・2 号線直上の移転が進み、用地確保の進捗が図られた。また、3・3・2 号線用地内の仮設道路改良工事により地区内の交通安全性が向上し、周辺街区及び区画道路の整備により、良好な宅地が供給され、事業の進捗が図られた。</p> <p>令和 4 年度末</p> <p>3・3・2 号線用地空け進捗率 (面積ベース)</p> <p>95.6% (Ⅰ期区間)、15.7% (Ⅱ期区間)</p> <p>西平山土地区画事業 進捗率 (事業費ベース)</p> <p>58.6% (前年度 +2.2%)</p>

### (3) 介護保険特別会計

<p>【事業番号】 77</p>	<p>【事業名称】 住民主体活動型の介護予防・日常生活支援サービス事業</p>
<p>【施策体系】 &lt;6&gt;</p>	<p>【事業概要】 地域の多様な主体が実施する生活支援サービス（日常生活における多様な困りごとの支援）を支援が必要な方に提供できるよう、体制整備を行った。</p>
<p>事業費： 3,375 千円</p> <p>財源内訳： 国庫支出金 1,009 千円 都支出金 422 千円 一般会計繰入金 462 千円 一般財源 1,482 千円</p>	<p>地域の高齢者が電球交換等のちょっとした困りごとがあったときに、地域の住民同士で互いに助け合うことができる仕組みを構築するために、困りごと支援を行う団体の新規立ち上げ支援、育成を行った。</p> <p>互近助サービスちょこすけ(事業名称)の団体として登録し活動する、自治会等の5人以上の団体に対して補助金を助成している。令和4年度は10団体の新規団体登録、補助対象団体は9団体。</p> <p>【事業成果】 地域に住民主体のインフォーマルなサービスができたことによって、地域の高齢者が日常生活でちょっとした困りごとがあった際に利用できるサービスが増えた。住民主体のサービスの仕組み作りが各地域ででき始め、サービスを利用する高齢者も増加している。</p>

## (4) 後期高齢者医療特別会計

<p>【事業番号】 78</p>	<p>【事業名称】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業</p>
<p>【施策体系】 &lt;6&gt;</p>	<p>【事業概要】 後期高齢者の健診結果や医療レセプト、介護保険等のデータを分析し、地域の健康課題を明確化し、健康上のリスクが高い高齢者を抽出した。</p>
<p>事業費： 1,672 千円</p> <p>財源内訳： 一般会計繰入金 1,672 千円</p>	<p>日常生活圏域（4 か所）ごとに、地区担当保健師をおき、そこに管理栄養士、歯科衛生士が加わった形で健康上のリスクが高い高齢者への個別的支援や、通いの場（注1）等へ出向き、フレイル予防に関する健康教育や健康相談を実施した。</p> <p>①低栄養予防プログラム：参加者 5 人（該当者 57 人） ②口腔機能低下予防プログラム：参加者 5 人（該当者 98 人） ③通いの場における健康教育・相談：実施回数 31 回（参加者 400 人）</p> <p>（注1）地域の住民同士が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げる場所です。地域の介護予防の拠点となる場所でもあります。</p> <p>【事業成果】 健康課題を有する高齢者に、医療専門職が個別に関わることができ、参加者の一部で健康意識の変化がみられた。 また、通いの場に出向くことで、多くの高齢者の健康状態を把握し、フレイルに関する知識の普及、予防のための取組みについて伝えることができた。 令和5年度は、より多くの高齢者の健康状態を把握し、フレイルリスクの低減を図れるよう、通いの場へアプローチしていく予定である。</p>
<p>【事業番号】 79</p>	<p>【事業名称】 介護予防事業（保健事業と介護予防の一体的な実施事業）</p>
<p>【施策体系】 &lt;6&gt;</p>	<p>【事業概要】 後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業のポピュレーションアプローチとして、身近な通える場所で、フレイル予防の啓発、健康教育および個別相談を、管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、言語聴覚士、理学療法士など専門職が実施。フレイルの質問票を活用し参加した高齢者への保健指導、状況に応じて体力測定を実施。</p>
<p>事業費： 342 千円</p> <p>財源内訳： 一般会計繰入金 342 千円</p>	<p>【実績】 13 回実施。（南平体育館、多摩平交流センター、新町交流センター 等） 対象者参加者数 213 人。専門職 39 人。</p> <p>【事業成果】 身近な通える場所で、高齢者の栄養、身体機能、社会活動について、専門職がフレイル予防講座と個別相談を実施したことで、効果的なフレイル予防の啓発を行うことができた。日常的に気軽に相談できる環境づくりにつながったこと、また、フレイル質問票や体力測定の結果から、健診、医療への受診勧奨や介護サービス等の利用勧奨につなげることができた。</p>

令和4年度（2022年）

普通会計決算概要及び主要な施策の成果

編集 日野市企画部財政課

〒191-8686 日野市神明1丁目12番地の1

TEL 〔直通〕 042-514-8076

〔代表〕 042-585-1111 内線 4311～4314